

4-6 和田地域の地域別構想

(1) 地域の特性と課題

1) 地域の特性

位置・人口・高齢化率等

- ・本地域は、本市の南部に位置し、日比港近くの丘陵地に市街地が形成されています。
- ・主な公共・公益的施設は国道430号沿道をはじめ、都市計画道路宇野渋川線や和田玉原線等に市民センターや小学校、食料品店などがあります。
- ・人口は約5千人で全市の約8%を占めていますが、減少傾向になっています。



区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年 (市人口比)	平成23年	高齢化率 (平成24年7月末)	
					／平成20年		
和田	5,310	5,254	5,136	5,074	7.9%	0.96	23.4%

資料：住民基本台帳

土地利用

- ・本地域において、市街化区域は中央部の丘陵地周辺に指定され、住宅地が形成されています。
- ・国道430号周辺をはじめ、都市計画道路宇野渋川線に商業地が形成されています。
- ・市街化調整区域は内陸部や海岸沿いの山地に指定され、森林になっています。

都市施設

- ・国道430号が山裾を通っています。
- ・街区公園として、和田中央公園、金ヶ谷公園があります。
- ・最終処分場があります。
- ・下水道は玉野処理区に位置し、市街化区域は整備を完了しています。
- ・消防署和田出張所があります。
- ・和田市民センター、生涯学習センター（ミネルバ）があります。
- ・日比中学校、日比小学校があるほか、玉野備南高等学校があります。

その他

- ・本市の基幹産業である造船業及び関連企業の社員が多く暮らしているまちであり、独身寮や社宅があります。
- ・市街地の周囲は山に囲まれており、丘陵部分に多くの家が建ち並んでいます。

2) 地域の主要課題

地域の特性などを踏まえて、次の主要課題を整理します。

①良好な居住環境の保全

- ・本地域の丘陵地には良好な居住環境が形成されています。
- ・このことから、この良好な居住環境を保全する必要があります。

②主要な生活道路の整備促進

- ・国道430号や都市計画道路宇野渋川線沿道の住宅地は、幅員が狭い道路が多く、不便や危険が感じられる状況です。
- ・このことから、主要な生活道路の拡幅整備や幹線道路における安全な歩行路を確保する必要があります。

③地域商業地の活性化

- ・本地域では商業・サービス施設が沿道にあり、隣接する日比・渋川地域には商業・サービス施設が少ない状況です。
- ・これらのことから、地域生活拠点となる和田地域の地域商業地における日常生活支援機能の充実が求められます。

(2) 将来の整備目標

1) 地域の整備目標

主要な道路の拡幅整備などにより安全な居住環境を形成するとともに、日常生活を支援する諸機能を集積した地域生活拠点づくりを進め、良好で快適な日常生活圏の形成を目指します。

2) まちづくりの基本方針

将来の整備目標の実現を目指して、次の基本方針を定めます。

① 快適な居住環境の保全、充実

主要な道路の拡幅整備や交通安全対策を進め、良好で快適な居住環境の保全と形成を図ります。

② 日常生活を支援する地域生活拠点等の充実

本地域の地域生活拠点において日常生活を支援する商業・サービス施設等の既存施設の活性化、更なる集積を誘導し、誰もが快適に暮らせる地域づくりを図ります。

③ 安全・安心な市街地環境の形成

防災機能の強化による災害対策を推進し、安全・安心な災害に強い地域の形成を図ります。

(3) まちづくりの整備方針

1) 土地利用方針

①市街地ゾーン（市街化区域）

ア 住宅地

i 専用住宅地

- ・本地域の住宅団地等は、今後とも良好な居住環境の保持を図り、戸建専用住宅を中心とする住宅地としての土地利用を図ります。

ii 一般住宅地

- ・山裾の住宅地は、木造住宅の耐火・耐震化や老朽建築物の建替え、狭小幅員の道路の拡幅整備を誘導しつつ、安全な一般住宅地としての土地利用を図ります。

イ 地域商業地

- ・本地域の国道430号周辺等の商業地は、歩行空間などの整備とともに商業施設の活性化に努め、今後ともより快適に暮らせる日常生活圏の形成に向けて、諸機能の集積を促進し、地域商業地としての土地利用を図ります。

②森林ゾーン

- ・神登山周辺の森林は、生活環境保全林整備事業による、地域の保健休養と野外活動の場としての森林整備を実施した区域もあり、今後とも育成及び保全を図るため、開発行為等を抑制して自然環境の保全に努めます。

2) 都市施設、その他の主要な整備方針

①道路

ア 国道430号の改良と活用（主要幹線道路）

- ・国道430号は、倉敷市や山陽自動車道への連絡道路でもあり、広域交通路として活用するとともに地域内交通ネットワークとの連携を図ります。

イ 市民との協働による道路づくり（生活道路）

- ・狭小幅員の生活道路については、関係者との協働により拡幅整備に努め、日常生活の利便性の向上に努めます。

②公園・緑地等の活用

- ・街区公園については、市民の憩いの場として、市民との協働を取り入れながら効率的で適正な維持管理に努めます。

③ 下水道、河川

ア 公共下水道の適切な維持管理

- ・ 公共下水道玉野処理区の既存施設については、改築・更新による長寿命化やライフサイクルコストの最小化、耐震化等を考慮し、施設や管渠の適切な維持管理に努めます。

④ 都市防災

ア 不燃化の促進

- ・ 木造家屋等が密集する市街地においては、市民の協力を得ながら狭小幅員の道路の解消や老朽建築物の建替えや除却等による不燃化を進め、災害に強いまちづくりを促進します。

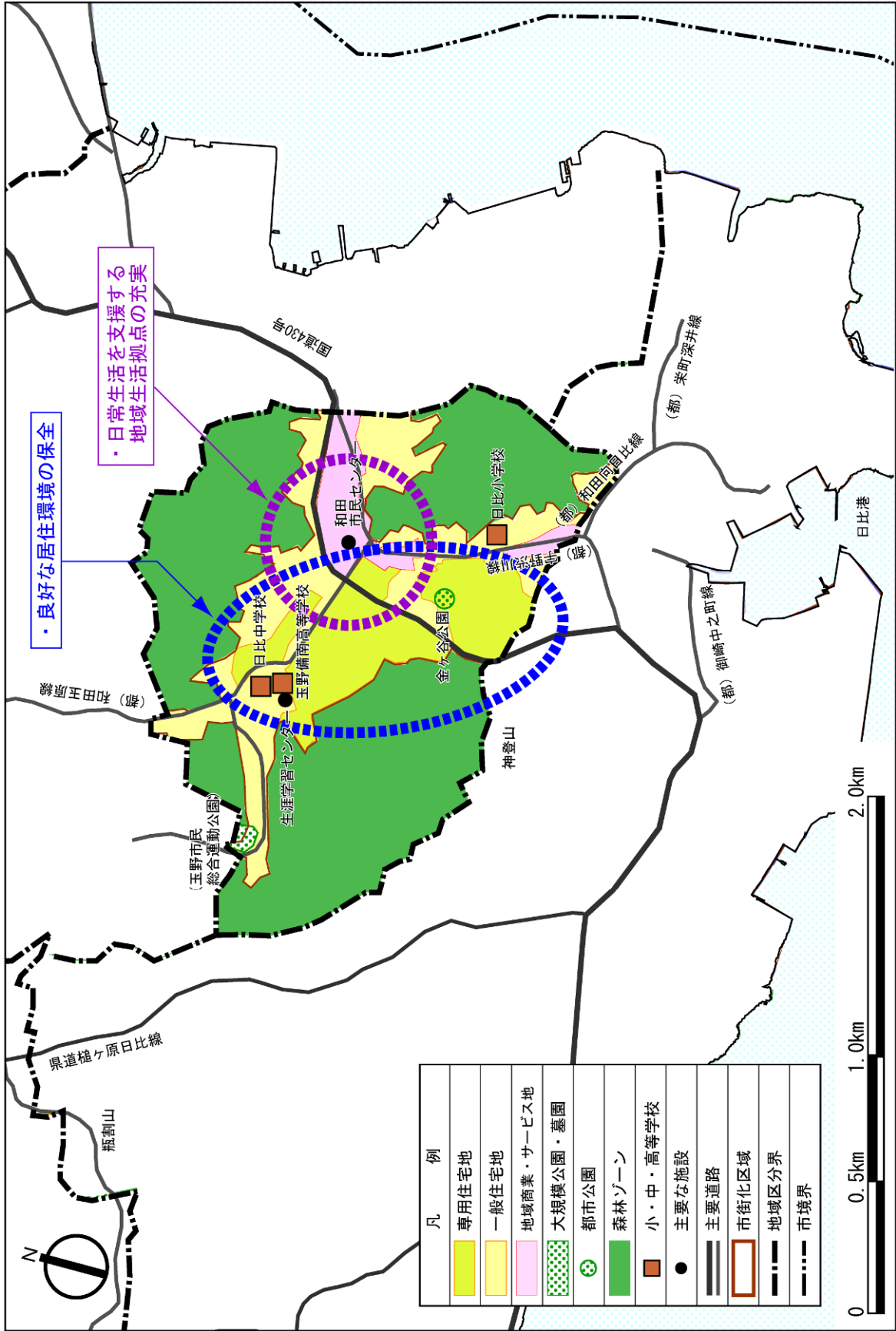


図4-6 和田地域のまちづくり方針図

4-7 日比・渋川地域の地域別構想

(1) 地域の特性と課題

1) 地域の特性

位置・人口・高齢化率等

- ・本地域は、瀬戸内海に面して本市の南部に位置し、日比港を中心とする平坦部や丘陵地、渋川の沿岸部等に市街地が形成されています。
- ・主な公共・公益的施設は国道430号沿道をはじめ、都市計画道路宇野渋川線等に市民センターや小学校、食料品店などがあります。
- ・人口は約5千人で全市の約8%を占めていますが、減少傾向になっています。



区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	(市人口比)	平成23年	高齢化率
						／平成20年	(平成24年7月末)
日比・渋川	5,473	5,388	5,287	5,182	8.1%	0.95	35.8%

資料：住民基本台帳

土地利用

- ・本地域において、市街化区域は日比港を中心とする平坦地から丘陵地、渋川海岸周辺に指定されています。
- ・日比港や周辺の沿岸部は、金属関係の製造業や玉地域から続く造船業などの工業地が広く形成されています。
- ・国道430号周辺をはじめ、都市計画道路宇野渋川線や御崎中之町線沿道に商業地が形成されています。また、渋川海岸は日本でも有数の渚を有し、周辺観光施設との相乗効果もあり、観光スポットになっています。
- ・内陸側の平坦地から丘陵地にかけて住宅地が形成されています。
- ・市街化調整区域は内陸部や海岸沿いの山地に指定され、森林になっています。

都市施設

- ・国道430号が山裾を通り、これに接続して県道榎ヶ原日比線が北方の荘内地域方面に連絡しています。
- ・街区公園として、向日比公園、日比公園、羽根崎公園、御崎公園、城山公園があります。
- ・下水道は玉野処理区に位置し、市街化区域は整備を完了しています。
- ・日比市民センターのほか、県の施設である渋川青年の家があります。
- ・第二日比小学校があります。なお、中学校区は日比中学校（和田地域）になっています。

その他

- ・渋川海岸は、県下最大の海水浴場として、京阪神からの利用客も多く、周辺には市立玉野海洋博物館やキャンプ場、民間の大型ホテルなどがあり、王子が岳を含めたリゾート地帯として整備されています。
- ・王子が岳は、花崗岩の巨奇岩が林立する特異な山容で知られ、山頂から瀬戸内海を挟んで四国連山や瀬戸大橋の全景が見られます。周辺には民間のテーマパークがあります。

2) 地域の主要課題

地域の特性などを踏まえて、次の主要課題を整理します。

①良好な居住環境の保全

- ・日比港北側には良好な居住環境が形成されています。
- ・このことから、この良好な居住環境を保全する必要があります。

②主要な生活道路の整備促進

- ・山裾に形成されている住宅地は、幅員が狭い道路が多く、渋川地区では観光客の交通が増大する時期は不便や危険が感じられる状況です。
- ・このことから、主要な生活道路の拡幅整備や幹線道路における安全な歩行路を確保する必要があります。

③地域商業地の活性化

- ・本地域では商業・サービス施設が少ない状況です。
- ・このことから、地域生活拠点となる和田地域の国道430号周辺の地域商業地における日常生活支援機能の充実が求められます。

④浸水対策等の強化

- ・本地域では、台風や大雨のときには浸水するおそれがある地区があるため、自然災害への防災施設の整備と、自主防災組織の拡充が求められます。

⑤渋川海岸周辺の観光・交流機能の充実

- ・渋川海岸周辺は、沿岸部を中心とするリゾート地帯が形成されています。
- ・このことから、今後も自然環境の保全・活用と、市立玉野海洋博物館など関連施設の維持管理及び整備を促進し、観光・交流機能を充実することが求められます。

(2) 将来の整備目標

1) 地域の整備目標

主要な道路の拡幅整備などにより安全な居住環境を形成するとともに、日常生活を支援する諸機能を集積した地域生活拠点づくりを進め、良好で快適な日常生活圏の形成を目指します。

また、高潮や台風等による自然災害への対策を充実し、安全性が高い居住環境の確保を目指します。

渋川海岸周辺においてはマリンスポーツ等を中心とするレクリエーション機能の保全と充実を目指します。

2) まちづくりの基本方針

将来の整備目標の実現を目指して、次の基本方針を定めます。

① 快適な居住環境の保全、充実

主要な道路の拡幅整備や交通安全対策を進め、良好で快適な居住環境の保全と形成を図ります。

② 日常生活を支援する地域生活拠点等の充実

本地域の地域生活拠点において日常生活を支援する商業・サービス施設等の既存施設の活性化、更なる集積を誘導し、誰もが快適に暮らせる地域づくりを図ります。

③ 渋川海岸リゾート地帯の保全と活性化

渋川海岸一帯の自然環境の保全・活用と周辺関連施設との連携を強化し、市立海洋博物館等主要施設の維持管理及び整備を促進し、観光・交流機能の充実を図ります。

④ 安全・安心な市街地環境の形成

浸水対策の強化、防潮施設の整備など災害対策等を推進し、安全・安心な災害に強い地域の形成を図ります。

(3) まちづくりの整備方針

1) 土地利用方針

①市街地ゾーン（市街化区域）

ア 住宅地

i 専用住宅地

- ・日比港北側の住宅団地等は、今後とも良好な居住環境の保持を図り、戸建専用住宅を中心とする住宅地としての土地利用を図ります。

ii 一般住宅地

- ・日比港の外周部や山裾、渋川地区の沿岸部等の住宅地は、木造住宅の耐火・耐震化や老朽建築物の建替え、狭小幅員の道路の拡幅整備を誘導しつつ、安全な一般住宅地としての土地利用を図ります。

イ 地域商業地

- ・日比地区や渋川地区の国道430号の沿道区域は、周辺の居住環境との調和を保ちつつ、沿道サービス施設の秩序ある立地の誘導を図ります。

ウ 工業地

i 専用工業地

- ・沿岸部の工業地は、今後も工業の利便の増進とともに周辺の居住環境や自然環境等との調和を保ち、本市の基幹産業が集積する工業地としての土地利用を図ります。

ii 住工共存工業地

- ・日比港周辺の工業地は、快適な生産環境の形成とともに居住環境の確保を図り、住宅と工業が共存する住工共存工業地としての土地利用を図ります。

②森林ゾーン

- ・王子が岳、瓶割山周辺の森林は、育成及び保全を図るため、開発行為等を抑制して自然環境の保全に努めます。

2) 都市施設、その他の主要な整備方針

①道路

ア 国道430号の改良と活用（主要幹線道路）

- ・国道430号は倉敷市や山陽自動車道への連絡道路でもあり、渋川地区においては拡幅整備事業の検討を引き続き促進し、広域交通路として活用するとともに地域内交通ネットワークとの連携を図ります。

イ 市民との協働による道路づくり（生活道路）

- ・狭小幅員の生活道路については、関係者との協働により拡幅整備に努め、日常生活の利便性の向上に努めます。

②公園・緑地等の活用

- ・王子が岳園地の適正な維持管理を図り、市民や観光客が自然と親しむことのできる場の活用を図ります。

③下水道、河川

ア 公共下水道の適切な維持管理

- ・公共下水道玉野処理区の既存施設については、改築・更新による長寿命化やライフサイクルコストの最小化、耐震化等を考慮し、施設や管渠の適切な維持管理に努めます。
- ・雨水排水施設については、引き続き施設や管渠の適切な維持管理に努めます。

イ 港湾の整備の促進

- ・港湾部においては、市管理の渋川港の適正な維持に努めるとともに、宇野港日比地区の事業の実施を促進します。また、高潮等による浸水対策について早期の完了を県に要望するなど、計画的に改修、整備を促進し、快適で安全・安心な港の整備に努めます。

ウ 水辺環境の保全

- ・渋川海岸等において、水質浄化等、適切な管理に努めて海浜環境を保全するとともに、環境学習の場や観光交流拠点として積極的な活用を図ります。

④自然景観の保全と活用

ア 海岸の自然景観の保全と形成

- ・渋川周辺の海岸においては、豊かな自然を保全しながら地域の特性を活かした魅力あふれる地域となるよう努めます。
- ・王子が岳や瓶割山等の森林ゾーンにおいては自然環境の保全、森林の育成に努め、美しく魅力的な森林景観として次世代に引き継ぎます。

イ 渋川・王子が岳景観モデル地区

- ・「渋川・王子が岳」は、自然緑地の保全及び、建築物等における色彩、形態等に配慮した景観形成の誘導に努めます。また、レクリエーション施設の整備にあたっては修景による景観の形成を図ります。

⑤都市防災

ア 高潮・洪水対策

- ・沿岸部周辺において、国や県と連携し、海岸保全施設の整備・更新を推進し、高潮、洪水等による浸水被害の防止を図ります。

イ 津波対策

- ・沿岸部周辺において、県と連携し、地震による津波の浸水区域や想定される被害等の予測など、安全対策に努めます。

ウ 不燃化の促進

- ・日比地区の木造家屋等が密集する市街地においては、市民の協力を得ながら狭小幅員の道路の解消や老朽建築物の建替えや除却等による不燃化を進め、災害に強いまちづくりを促進します。

